



南地域まちづくりかわら版 第112号

令和4年12月1日発行

毎月13日はあいさつの日



皆さんは一日のスタートを、気持ち良くむかえていますか？
南自治では地域のみなさまに、笑顔の時間を増やしてもらおうと、あいさつを大切にする取り組みをおこなっています。
家族やご近所さん、出先で出会った方など、いつもの日常に一言気持ちの良い言葉をつけ足してみましょ。



「おはようございます」「おつかれさま」
会話や笑顔の、きっかけになりやすい言葉です



「ありがとうございます」
嬉しい気持ちや感謝の気持ちが一番伝わりやすい言葉です



「しつれいします」
相手を驚かせないように、自分から声をかける思いやりの言葉です



「すみません」
素直にみとめて人との関係を気持ちよく保てる、魔法の言葉です

善意のご寄付

秋田区の個人の方から、事務椅子2脚・大型のパソコン用モニター・キーボードをご寄付頂きました。感謝です！ありがとうございました！



みなみじち

南地域自治組織

3区

自治組織

協力体制で活動中！

宣伝・広告 協賛事業所 募集中！

詳細は南自治事務所まで
お問合せ下さい。

南自治事務所 ☎0587-75-1731

南自治「人にやさしい」標語 南小学校児童標語入選作品

最優秀作品

- 1年 ありがとうは なかよくすぞす あいことば
- 2年 あいさつは 目と目あわせて えがでおね
- 3年 助け合う みんなのこころ つながるよ。
- 4年 たすけあい 人にやさしく ありがとう
- 5年 優しさは 人の心を 守るもの
- 6年 感謝の気持ち 言葉に表そうよ 「ありがとう」



入選作品

1年

- 1組 ともだちとなかよくするとたのしくなる
- 2組 やさしいえがおいっぱいもち

2年

- 1組 だいじょうぶこえかけてくれてありがとう
- 2組 うれしいなやさしいことばありがとう

3年

- 1組 いつまでもやさしい心大切に
- 2組 たすけあいみんなのいのちたいせつに

4年

- 1組 ありがとうきみのおかげでがんばれる
- 2組 やさしさはちきゅうのへいわの一つだよ

5年

- 1組 言葉より助け合おうよ行動で
- 2組 コロナでもマスクのしたはスマイルだ

6年

- 1組 あいさつはみんなをつなぐまほうだよ
- 2組 大丈夫その一言にありがとう

南地域のたからものvol.59 ～動乱のさなか、生まれた仏さま～



御供所の集落を南北に通る道を南へ進み、国道155号を渡って江南市曾本町へ向かう途中、豊田一丁目地内の道沿いに仏さまの石造物があります。台座には建立した年代である元治元年（1864）十一月…と刻まれています。

この年はまさに幕末の動乱真ただ中、同じ年の6月には新選組による池田屋事件、7月に禁門の変（蛤御門の変）、そして8月からは幕府による第一次長州征討があり、前尾張藩主、徳川慶勝（とくがわよしかつ）が総督となって長州（現在の山口県西部）へと兵を進めました。仏さまが生まれた時は長州征討のさなか。仏さまは早く安寧な世の中になってほしい…と願っていたのかもしれない。

◆「南地域まちづくりかわら版」は、大口町ホームページで見ることができます。
大口町ホームページ <https://www.town.oguchi.lg.jp/4235.htm>

◆「南地域自治組織事務所」秋田三丁目397番地 ☎/FAX 0587-75-1731
E mail : minamitiiki@md.ccnw.ne.jp 開館：平日午前中
～年末年始休館日 令和4年12月28日～令和5年1月5日まで～



発行：大口町南地域自治組織

ふれあいまつり2022 に協賛しました!



久しぶりに開催されました令和4年度ふれあいまつりに南地域自治組織と共に、3区のパネルを作成し、展示協賛しました。



大屋敷学習等共同利用施設活動紹介



サポカー(福祉車両)・青パトのテスト運行始まる

南地域自治組織の専有する福祉車両(通称サポカー)・青パト兼用の車両が、11月1日(火)警察署と陸運局の登録が無事に終了しました。いよいよ11月からテスト運行を開始します!



サポカーの利用は会員制です

通院に家族の都合が合わない・・・郵便局に行きたいけど・・・子連れでの運転は苦手・・・車いすだけど乗せてもらえるかしら・・・みなさんの困ったを、ぜひご相談ください。
※青パトサポカーは南地域全域をパトロールします。サポカーは皆さまの善意で成り立っています。

運転手・利用会員を募集しています。申し込みは事務局まで!

イナサコ
南自治 連絡先: 0587-75-1731

防災訓練

『一期一会荘』

令和4年10月18日(火)午前10時より毎年恒例の防災訓練が、一期一会荘で震度6.5度の地震が発生したと想定して開催されました。

3年間保存が可能な非常食カレーを使って、炊き出し訓練をしました。男性職員が廃材を斧で割り、薪づくりをし火をおこしました。食後には丹羽消防署のかたの講演と、AED講習も実施しました。地域との協力・協調された“地域ぐるみ”の防災を目指しています。



この取り組みは、現在の入居者と、職員の安全を守るための訓練です。

この施設では、防災対策として100名3日分の食料と飲料水の備蓄、ソーラーシステムと発電機を併用した電源確保による防災準備がなされていました。

